

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	41400	干潟公民館活動費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
①		12	生涯学習の充実	生涯学習の充実	根拠法令	社会教育法、旭市民館の設置及び管理に関する条例、規則	10	4	7	☒ 主な事業
②		23	生涯学習機会の充実	生涯学習機会の充実	戦略事業	122	生涯学習施設活動費			☐ 国土強靱化地域計画
③					戦略事業	123	生涯学習講座の開催			☒ 新市建設計画
④										☐ 定住自立圏構想
⑤										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 49 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		地域における生涯学習活動を担う施設として、施設の維持管理及び運営を行う。 また、市民が新しい知識を得たり、さまざまな体験をし、健やかな生涯を過ごすための学習の場、交流の場として情報の提供を行い、各種講座教室の開催をする。 【開館時間】9時～17時。但し、夜間利用がある場合は21時まで開館。【閉館日】月曜、祝日、年末年始 【館内施設】大ホール、会議室4、和室4、調理実習室1、図書室1	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成17年に1市3町が合併し、今まで当該公民館としては、主催事業及び学級講座については実施していなかったが、合併前の他市町公民館等との均衡を図るため実施することとなったものである。		・施設・設備の老朽化が深刻な問題となっており、建物本体については建築基準法に基づく定期報告により多くの指摘事項があげられ、設備についても保守点検などにおいて多くの指摘事項が生じている。 ・耐震診断未実施	施設利用者から施設・設備の改善についての要望が多い。 (雨天時のペランダの浸水や雨漏り、空調がほとんど効かない部屋がある、3階ホールの音響設備の改善等)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.報償費	671:報奨金	
2.需用費	44:消耗品費	
3.役務費	137:通信運搬費、手数料、保険料	
4.使用料及び賃借料	0:施設等入場料	
5.その他	0	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1.報償費	千円	934	811	692	671	682
	2.需用費	千円	78	95	88	44	87
	3.役務費	千円	217	140	149	137	146
	4.使用料及び賃借料	千円	1	3	0	0	4
	5.その他	千円	0	0	0	0	0
事業費計(A)		千円	1,230	1,049	929	852	919
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	1,230	1,049	929	852	919

前年度増減理由	消耗品の購入が少なかったため。
---------	-----------------

従事職員数	常時	2人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・主催事業 子供体験教室 ・主催教室 書道教室(一般)、子ども書道教室、着付け教室 ヨーガ教室、折り紙教室、生け花教室、押し花教室 フラ教室、文学・歴史教室、ちぎり絵教室		ア 主催事業企画数	事業	4	4	3	1	1
			イ 学級講座企画数	講座	12	11	10	10	11

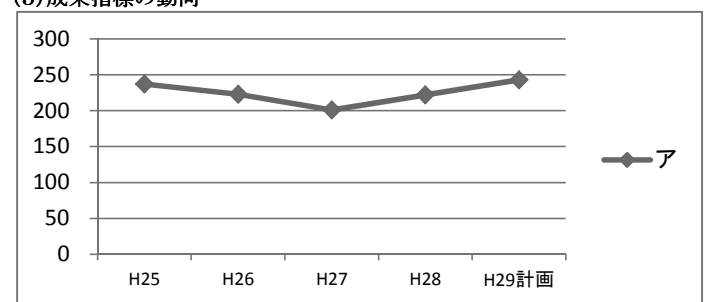
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 ・市民 意 ・主催事業並びに主催教室等を通じ、コミュニケーションの場が広がり、又、生涯を通し趣味、新たな生き甲斐を見出すことができる。 対象意図		ア 学級講座受講者数	人	237	223	201	222	243
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
				⑦
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位1/3	中位1/3	上位1/3
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	(コメント) (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 人員配置の都合や施設老朽化による取り壊しの話などにより、主催事業・教室を拡大することは困難である。	(コメント) (低下の場合、その理由) 主催事業の一つは申込人数が少なく中止となってしまったが、学級講座受講者数はほぼ横ばいである。
評価内容	成果指標ア	成果指標イ	比較
	成果指標ア	成果指標イ	比較
評価内容	今年度取組事項	今年度取組事項	今年度取組事項
	今年度取組事項	今年度取組事項	今年度取組事項